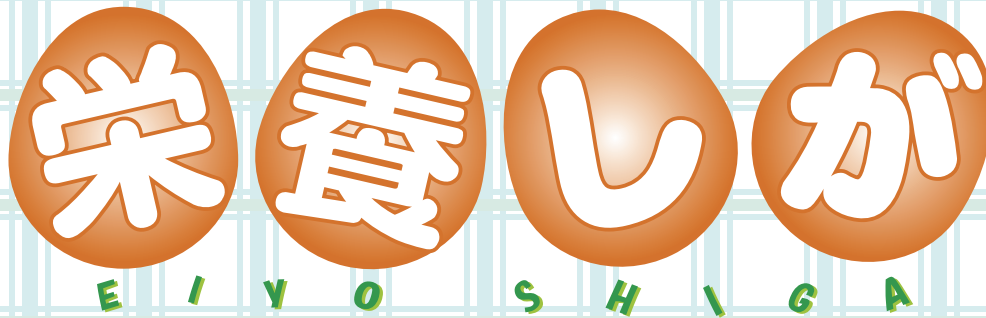




会長あいさつ

公益社団法人滋賀県栄養士会
会長 澤谷 久枝

盛夏の候、会員の皆さまにはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は本会の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

このたびの通常総会において役員改選が行われ、会員の皆さまのご承認をいただき、4期目の会長を拝命いたしました澤谷久枝です。身に余る大役ではありますが、今後も当会の発展に微力ながら尽力してまいる所存です。

引き続き、よろしくお願い申し上げます。

当県では、生活習慣病予防、フレイル対策、子

どもの食育、災害時の栄養支援など、食と栄養を取り巻く課題が一層複雑化しています。その中で、医療・福祉・保健・教育・行政・事業所・地域活動など、あらゆる現場で活躍する管理栄養士・栄養士の専門性が、これまで以上に求められています。

「食よし、体よし、心よし」をキーワードに掲げ、研修事業の充実、会員相互の連携強化、行政・関係団体との協働を一層進めていきたいと考えています。

琵琶湖をはじめとする豊かな自然と、地域に根づいた食文化は、滋賀県の大きな財産です。この恵みを次世代につなぎながら、「おいしく、楽しく、健康に」暮らせる社会の実現に向けて、当会としての役割を果たしてまいります。

変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2026(令和8)年度 事業計画

滋賀県の健康課題に対応するため、県民の健康づくりと栄養支援の強化を中心に事業を展開していきます。生活習慣病やフレイル対策、子どもの食育推進を軸に、地域包括ケアの一員として多職種・行政との連携を深めていきます。また、専門職として資質向上を図る研修の充実、災害時の栄養支援体制整備、広報と会員サービス強化、組織運営の安定化に取り組み、地域に根ざした持続可能な栄養・食支援体制の発展を目指します。

【事業方針】

1. 県民の健康寿命延伸を目的に、食育・健康啓発事業を継続。栄養の日・栄養週間、食と健康展、出前講座などの普及活動を強化し、乳幼児・学童・高齢者・障がい児などライフステージに応じた食支援を充実させる。行政・地域団体・多職種団体との連携を深め、地域全体での健康づくりを推進する。
2. 生涯教育制度に基づく研修会を日本栄養士会と調整しながら計画的に実施。管理栄養士・栄養士の

専門性向上を図るとともに、新任者や復職者を対象とした再教育講習会を継続し、若手会員の育成とキャリア形成を支援する。

3. JDA-DATしがの育成・訓練・フォローアップ研修を継続し、災害時に迅速かつ適切な栄養支援が行える体制を整備する。行政・医療機関・地域団体との連携を強化し、災害時食支援マニュアルの見直しと普及を進める。
4. 栄養ケア・ステーション事業は、県内4ブロック体制による相談・支援活動を継続し医療・介護・地域包括支援センターとの連携を強化する。地域住民への栄養相談や講座提供を拡大し、地域に根ざした栄養支援の拠点としての機能を高める。
5. 県民の食生活や栄養課題に関する調査研修を推進し、その成果を行政や関係団体と共有することで施策への反映を支援する、2025年から始めた「学術研究発表会」を継続する。
6. 組織強化として、会員増対策に向けて広報活動を強化し若手会員の参画促進を図る。役員・委員会体制の見直しや業務のデジタル化を進め効率的な運営体制を構築する。

予算、決算報告

令和8年度

予算（損益ベース）

経常収益 15,192,100 円
 経常費用 15,176,968 円
 正味財産増減額 15,132 円

科 目	予算額	科 目	予算額
経常収益（円）		経常費用（円）	
基本財産運用収入	3,000	事業費支出	11,087,408
特定資産運用収入	100	管理費支出	4,089,560
入会金収入	50,000		
会費収入	4,612,500		
事業収入	0		
負担金収入	622,000		
受託収入	9,853,000		
補助金等収入	0		
寄付金収入	0		
雑収入	51,500		
経常収益計	15,192,100	経常費用計	15,176,968
経常外収益計	0	経常外費用計	0
当期正味財産増減額		15,132 円	
正味財産期首残高		7,675,479 円	
正味財産期末残高		7,690,611 円	

令和7年度

決算（損益ベース）

経常収益 12,816,248 円
 経常費用 15,539,131 円
 正味財産増減額 ▲2,722,883 円

科 目	決算額	科 目	決算額
経常収益（円）		経常費用（円）	
基本財産運用収入	1,578	事業費支出	10,289,697
特定資産運用収入	0	管理費支出	5,249,434
入会金収入	26,000		
会費収入	2,812,500		
事業収入	0		
負担金収入	504,000		
受託収入	7,985,650		
補助金等収入	0		
寄付金収入	0		
雑収入	1,476,835		
事業活動収入計		事業活動支出計	15,539,131
経常外収益計	0	経常外費用計	0
当期正味財産増減額		▲2,722,883 円	
正味財産期首残高		10,398,362 円	
正味財産期末残高		7,675,479 円	



— 日本栄養士会からの報告



6月20日・21日に横浜パシフィコにて開催されました定時総会は、全ての議案が原案通り承認されたことをご報告申し上げます。なお、決議事項は以下のとおりです。

【第1号議案】2025年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、財産目録承認の件

【第2号議案】理事選任の件

【第3号議案】監事選任の件

【第4号議案】役員報酬承認の件

【第5号議案】名誉会員承認の件

【協 議 事 項】2026年度事業執行計画、予算について

【特 別 講 演】「管理栄養士・栄養士の可能性と期待
 —研究・政策・現場をつなぐ戦略と展開—」
 国立保健医療科学院生涯健康研究部部長
 清野富久江氏

なお、≪2026年度総会スローガン≫は以下の通り採択されました。

- 1 栄養の力で人びとの健康と幸せに貢献するために、管理栄養士・栄養士が専門性を発揮し、活躍できる環境づくりと若手人材の育成を進め、会員基盤を強化しよう
- 1 職業倫理を遵守し、専門的知識と技術を高め、

栄養改善活動と生涯教育を一体的に推進し、管理栄養士・栄養士の専門性と実装力の向上を図ろう

- 1 日本の栄養改善活動の成果“Japan Nutrition”（ジャパン・ニュートリション）を世界に向け発信し、東京栄養サミットのコミットメントの実現に向けて、ラオス栄養改善活動を推進しよう
- 1 頻発化・激甚化する自然災害に備え、人材育成と体制整備を進め、栄養・食生活支援を通じて住民の命と健康を守ろう
- 1 地域密着型の栄養ケア・ステーションの設置促進と機能拡充を進め 地域における栄養支援体制充実を図り、社会環境の質の向上に寄与しよう
- 1 栄養の日・栄養週間の活動を通して、栄養の力を広く発揮し、管理栄養士・栄養士の社会的認知を高めよう

なお、議案等の内容はホームページ会員限定ページにて掲載されますので、詳細についてはそちらをご覧ください。

受賞おめでとうございます

滋賀県知事表彰を受けて



重田 直美

この度は、知事表彰を賜り誠にありがとうございます。

私は、病院勤務を経て、福祉の現場で管理栄養士として長年従事してきました。児童発達支援センターでは、当時はまだ普及していなかったチームアプローチによる個別的栄養管理に取り組み、障がいのある子どもたちへの栄養管理や摂食嚥下支援、栄養相談を多職種と協働しながら進めてきました。知的障害児施設では栄養ケア・マネジメントの導入や食育活動の体系化に努め、救護施設では利用者の障がいや自立度に応じた食事提供や健康づくりに取り組みました。これらの実践は学会発表や雑誌掲載の機会にもつながり、厚生労働省が策定する「児童福祉施設における食事の提供ガイド」では、ワーキンググループ構成員として事例の提供を担わせていただきました。これも、共に歩んできた職場の皆様、利用者・利用児童とそのご家族、そして管理栄養士・栄養士の仲間の支えがあってこそと、改めて深く感謝申し上げます。

今回の受賞を励みに、今後も「食」を通じて誰もが健康で安心して暮らせる地域づくりに貢献できるよう、栄養士会に所属し自己研鑽を重ねながら、フリーランスとしての活動をしていきたいと思っています。

滋賀県栄養士会会長表彰を受けて



小野 由美

このたび、滋賀県栄養士会 会長表彰を賜り、深い感謝の気持ちであります。今回の受賞は、日頃より支えてくださった多くの方々のおかげだと実感しております。理事としては、事業部での研修企画や会務運営、地域の栄養課題への取り組みなど、会の発展に微力ながら携わってまいりました。また、病院では患者さまへの栄養指導や栄養管理を通じ、一人ひとりの生活背景に寄り添いながら、治療効果の向上に努めてきました。管理栄養士として、地域の健康づくりと医療現場での栄養支援に携わる責任の重さを改めて感じております。今回の受賞を励みに、今後も地域の健康に貢献できるよう精進してまいります。



小川 孝子

この度、滋賀県栄養士会会長表彰をいただき、私ごときがその様な表彰に値するのかと、大変恐縮いたしました。振り返れば学校栄養職員として二十年、栄養教諭として二十一年、四十一年の長きにわたり学校給食に携わり、勤めあげられたことへのご褒美かと思っております。今まで続けてこれたのは一重に栄養士会の方々や諸先輩方のご指導、皆様方の励ましのおかげです。感謝申し上げます。

今後は、学校給食を少し離れ、違った形で皆様のお役に立てればと思っております。本当に、ありがとうございました。



海老 久美子

このたびは、栄養士会会長表彰を賜りありがとうございます。

2010年、立命館大学スポーツ健康科学部開設以来、滋賀県栄養士会の皆様には大変お世話になってまいりました。この間、スポーツと栄養に関わる先生方と「環びわ湖スポーツ栄養交流会」を立ち上げ、県内大学間の交流を深めてまいりました。また昨年は、澤谷会長のご推薦により、国スポ・障スポの「おもてなし弁当」や「競技者のためのレシピ集」の作成にも携わらせていただきました。今後も、「食・スポーツ・健康」をキーワードに、皆様と一緒できれば幸いです。

このたびの受賞にあたり、ご推薦くださいました滋賀県立大学の辰巳佐和子先生をはじめ、滋賀県栄養士会研究教育事業部の先生方に心より感謝申し上げます。



井上 由理

この度は滋賀県栄養士会会長表彰を賜り、ありがとうございました。

平成6年に滋賀県入庁後、栄養士会への入会を勧められ、気づくと30年が経ちました。

これまで様々な栄養士の皆様に助けていただきながら、公衆栄養活動を続けられたことにあらためて深く感謝申し上げます。

「栄養士は普段どこにいるの?」と聞かれることがよくあります。私自身も職場では一人配置ですが、他の栄養士と常に話せるので「こちらにも、あちらにも栄養士がいてくれる」と心強く感じています。

栄養に関する政策が年々充実され活躍の場も広がっています。皆様と一緒に「栄養士 ここにいますよ」と他(多)職種に伝えながら、今後も活動をしていきたいと思っています。引き続きよろしく願いいたします。



上村 由貴恵

この度は、滋賀県栄養士会会長表彰を賜り、誠にありがとうございました。栄養士の職に就き知的障がい者更生施設、児童自立支援施設、児童発達支援

センターと幅広く多くの方々食に携わってきました。就職当初は悩むことも多くありましたが、諸先輩方はじめ周りの方々に支えられ、食の大切さを伝えるこの仕事に誇りをもち、長年続けることができました。振り返ると、それぞれの職場で多職種と協働することで自身の知識を深め、栄養の視点からだけでなく幅広い視点で「食」を考えるようになるなどたくさんのことを学び、栄養業務に活かすことができるようになったと実感しています。今後も人との交流を大切に、学びを続けながら、食支援に尽力して参りたいと思います。



山崎 かおり

この度は、滋賀県栄養士会会長表彰を賜り、誠にありがとうございます。これまで多くの方々に支えていただいたことに感謝申し上げます。私は、長く

福祉施設の栄養士として勤務してまいりました。中でも、2005年の介護保険制度改正により、多職種協働による栄養ケア・マネジメント体制が、初めて導入されたことが大きな出来事でした。今までやりたいと思っていたことが現実になった喜びと同時に、制度や手法の理解、施設での導入に四苦八苦したことを覚えています。栄養士会の皆様のサポートを得て、栄養ケア・マネジメントの基盤を作ることができました。制度も時代とともに変化していきますが、これからも栄養課題に目を向け、健康増進と福祉の向上に寄与できるよう精進してまいります。



井出 真美

この度は、滋賀県栄養士会会長表彰を賜りまして感謝申し上げます。

ここまで、栄養士として長く関わらせて頂きましたことは、ひとえにご指導くださいました皆様方と、活動を共にした会員の皆様のおかげでございます。心より感謝申し上げます。

日々変わりゆく食環境に応じて、栄養士の在り方も変化して行かねばならないと思います。今後も学ばせて頂き、精進して参りたいと存じます。

益々の皆様のご活躍と栄養士の発展を心よりお祈り申し上げます。



酒井 純江

この度は滋賀県栄養士会会長表彰を賜り、誠にありがとうございました。私は企業や大学の研究機関で勤務しておりましたが、ご縁あって

滋賀県栄養士会に入会し、早21年が経ちました。入会后間もなく特定保健指導の制度や栄養ケアステーション制度が始まりました。その当初は、慌ただしくも熱心に学んでいたことを今回の表彰を受け、思い返しております。至らぬ私がここまで活動を続けてこられたのは、家族の支えと先輩方の温かいご指導のおかげであり、心より感謝申し上げます。今後も滋賀県栄養士会のために尽力する所存でございますが、フリーランス・栄養関連企業等事業部の仲間の方々には、今後とも変わらぬご指導、ご支援をお願い申し上げます。



田中 友紀

この度は滋賀県栄養士会会長表彰を賜り、誠にありがとうございます。これまでご指導くださった諸先輩方、栄養士の仲間の皆様、そして

夫をはじめ家族の支えにより仕事を続けることができ、今回の受賞へと繋がりましたことに心より感謝申し上げます。

乳幼児から高齢者まで幅広い方々と関わる中で、特に保健センターや発達支援センターでの経験から乳幼児の保護者への食支援の難しさを痛感し、大学院修士課程で児童学を学び直しました。現在は滋賀県立大学大学院博士課程で研究に従事しつつ、管理栄養士養成校に勤務しております。

管理栄養士としてまだ道半ばです。微力ながら栄養士業務に貢献できるよう研鑽を重ねて参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



村岡 順子

この度は、滋賀県栄養士会会長表彰を賜り、誠にありがとうございました。

北海道で生まれ、神奈川で栄養を学び、北海道で栄養士として勤務し、縁あって滋賀に参り、子育てを終えた後再び栄養士として働かせていただいております。

これもひとえに日頃よりご指導をいただいている栄養士の皆様や家族の支えがあってこそと心より感謝申し上げます。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和8年度 公益社団法人滋賀県栄養士会 通常総会の概要

令和8年度定時総会を、令和8年5月23日に開催しました。

総会では、令和7年度の事業報告および決算報告、監査報告について審議され、承認されました。また、令和8年度の事業計画および予算案についても承認され、今年度の活動方針が決定しました。

併せて、今後の会運営の安定化と事業のさらなる充実を図るため、会費改定について提案され、承認されました。会員の皆様にはご負担をお願いすることとなりますが、より質の高い事業の実施や会員サービスの向上につなげてまいります。

また、任期満了に伴う役員改選も行われ、無事終了しました。これまで会の発展にご尽力いただいた役員の皆様に感謝申し

上げるとともに、新体制のもと、会員の皆様のご理解とご協力をいただきながら、さらなる発展に向けて取り組んでまいります。

今後とも本会の活動へのご支援をよろしくお願いいたします。



【記念講演報告】

- 日 時：令和8年5月23日（土）14:00～15:30
- 会 場：淡海医療センター あおばなホール9F
- テーマ：『健康なまちづくりの処方箋～体験型健康医学教室『りんご教室』から学ぶ～』
- 講 師：つみのり内科クリニック 院長 山下 積徳氏 ●参加者：62名

令和8年度滋賀県栄養士会総会において、記念講演を開催しました。

講演では、「健康なまちづくりの処方箋～体験型健康医学教室『りんご教室』から学ぶ～」をテーマに、地域に根ざした健康づくりの実践についてご紹介いただきました。

医学・栄養・運動・精神の各分野を融合させながら、人々の「自立した健康」を支える取組について、豊富な事例とともにわかりやすくご説明いただきました。健康づくりを個人の課題にとどめず、地域全体の健康意識の向上を通じてまちづくりへと発展させる視点は、参加者にとって大きな学びとなりました。

また、実際のデータや活動事例をもとに、生活習慣の改善による行動変容が健康寿命の延伸や医療費の適正化につながることが示され、予防の重要性について改めて理解を深める機会となり、大変有意義な記念講演となりました。



理事紹介

●会 長 澤谷久枝

●副 会 長 富田文代・田川麗子

●常務理事 清水満里子

●総務・組織担当理事

鈴木真理・平塚ちあき

●事業担当理事

黒田佳奈子・金丸多津子・谷口祐一・安田篤生

●県民サービス部担当理事

井上真里・栗原美香・中村瑞菜・松村あゆみ

●学術研究担当理事

布施順子・浅野美早子・白木理恵・田辺直子

●JDA-DAT 担当理事

多田 陽子

●監 事 朝見祐也・関谷陽子・林繁里（外部）

新 理 事 あいさつ

●総務部・組織部

鈴木 真理（医療）

このたび理事を拝命いたしました。微力ではございますが、医療職域の発展と会員の皆さまのつながりを大切にしながら、学び合える環境づくりに努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

平塚 ちあき（公衆衛生）

本年度より理事に着任いたしました東近江市健康推進課の平塚と申します。会員の皆様のスキルアップや会員同士の交流に少しでも貢献できれば幸いです。至らぬ点もあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。

●事業部

金丸 多津子（フリーランス・栄養関連企業等）

この度、新理事に就任いたしました金丸多津子と申します。10年ほど前、福祉事業部の理事をさせていただきましたが、その頃より一段と栄養士会へのニーズ・期待は高まったと感じます。微力ではございますが、お役に立てるよう努めて参ります。

谷口 祐一（研究教育）

本年度より、理事に着任いたしました龍谷大学農学部食品栄養学科の谷口祐一です。現職では、公衆栄養学の講義・実習を担当しています。教育・研究・栄養士の活動を通して、地域に貢献できるよう努めて参ります。どうぞ宜しくお願いいたします。

安田 篤生（福祉）

このたび、理事に就任いたしました福祉事業部の安田篤生です。会員の皆様とともに、管理栄養士・栄養士の資質向上と県民の健康づくりに貢献できるよう努めてまいります。ご指導、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

●県民サービス部

井上 真里（フリーランス・栄養関連企業等）

今年度より、理事を務めさせていただくことになりました。会員の皆様とともに研鑽を重ね、県民の皆様の健康で豊かな生活づくりに貢献できるよう、精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

栗原 美香（医療）

この度理事を拝命致しました。若い世代にも栄養士の魅力を伝え、多くの仲間を迎えて横のつながりを築くことで、日々の業務をより有益に発展させられるよう尽力します。どうぞよろしくお願いいたします。

中村 瑞菜（学校健康教育）

今年度より初めて理事を務めさせていただくことになりました。皆様のお力添えをいただきながら、より良い活動づくりに努めてまいります。至らぬ点もあるかと存じますが、どうぞよろしくお願いいたします。

●学術研究部

浅野 美早子（公衆衛生）

今年度より理事を務めさせていただくことになりました。不慣れな点もございますが、皆様と協力しながら、会員の皆様にとって有意義な会運営を目指して努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

白木 理恵（研究教育）

今年度より理事に着任いたしました。新任のため至らぬ点も多いかと存じますが、まずは会員の皆様の「学びの場」を支える職務から、一歩ずつ勉強してまいります。精一杯努めますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

●JDA-DAT

多田 陽子（フリーランス・栄養関連企業等）

今年度より理事を務めさせていただくことになりました。不慣れでご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、皆様のお力添えのもと、活動しながら最善の方法を探ってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

理事会だより

令和8年5月23日（土）の総会時に第1回理事会が開催されました。理事の中から、会長 澤谷久枝氏、副会長 富田文代氏・田川麗子氏、常務理事 清水満里子氏が選定されました。その後、各担当事業部および職域事業について、新理事への引き継ぎを行いました。第2回理事会は、6月13日（土）に開かれ、各事業部より提案のあった今年度の取り組みについて協議しました。第3回理事会を7月11日（土）に開催しました。

より良い栄養士の運営に向け、会員の皆様のご意見やご提案がございましたら、理事または事務局までご連絡ください。

各事業部活動紹介



●総務部・組織部

総務部・組織部は、会員増対策や組織強化、総会・理事会の開催のほか、ホームページやInstagramの更新等を担当しています。ホームページでは、○当会の目的・事業・組織図・入会案内 ○生涯教育・研修情報 ○動画配信 ○各職域からのお知らせ ○栄養しが最新版を掲載し、会員の皆様への情報提供だけでなく、県民の皆様に栄養士・管理栄養士の魅力や当会存在を広く伝えています。

今年度は、前年度に引き続き、ホームページやInstagramを活用した情報発信の強化に努めてまいります。会員の皆様が研修会案内やイベント情報など、必要な情報へよりスムーズにアクセスできる環境づくりを推進します。同時に、県民の皆様に当会の活動をより身近に感じていただき、理解度を深めるための広報にも取り組んでまいります。こうした取組によって、非会員の栄養士・管理栄養士の皆様へ当会の魅力が伝わり、組織の基盤となる会員数が増加するよう努めます。

また、引続き新卒の方の会費は、滋賀県栄養士会会費7,500円を初年度のみ免除とし、日本栄養士会会費6,500円と入会金1,000円の合計7,500円となります。お知り合いの方でまだ入会されていない方がおられましたら、ぜひ会員の皆様から当会の魅力をお伝えいただき、入会のお声がけをお願いいたします。

●事業部

事業部では、会員だけでなく一般の皆様にも広く聴講いただけるような研修会の企画・運営を行っております。

今年度の活動として、次の①～⑤の実施を計画しております。

- ①滋賀県栄養士会総会記念講演
- ②栄養士再教育講習会（県受託事業）
- ③健康づくり提唱のつどい研修会（株式会社ヤクルト協賛）
- ④多職種連携による栄養を考える研修会
- ⑤糖尿病予防のための食育推進事業（県受託事業）

今年度も、皆様にとって有益な情報をお届けするとともに、栄養士の活動への関心を深めていただけるような研修会の開催に努めてまいります。

今後とも、栄養士会の運営にご理解とご協力を賜りますとともに、研修会や各種事業への積極的なご参加をお願いいたします。

●県民サービス部

県民サービス部は、県民の健康増進及び食生活改善に向けた情報啓発と普及を目的として3つの事業を担当しています。

- ①広報誌「栄養しが」年2回 電子媒体で配信
- ②食育イベント

生活協同組合コープしが様に御協力いただき、食育イベントを実施いたします。

1回目は7月25日（土）コープぜぜ店、2回目は8月22日（土）コープながはま店、にて開催を計画しています。

- ③食と健康展

11月3日（火・祝）ビバシティ彦根1階センタープラザにて、「お弁当コンテスト」と同時開催を計画しています。栄養相談や健康チェックコーナーの設置、紙芝居の読み聞かせ、災害に備えての備蓄食料の展示等を行う予定です。

「食育イベント」や「食と健康展」の会場近くに来られましたら、是非お立ち寄りいただけますようお願いいたします。

各事業に御協力いただいている皆様に深く御礼申し上げますとともに、栄養士会の活動を広く知って頂く機会として、今後も御協力いただきますようお願いいたします。

●学術研究部

学術研究部は、「生涯教育研修会」において、各職域の管理栄養士・栄養士の資質の維持・向上を図るとともに、栄養士を目指す学生も受け入れ、栄養に関する最新の知識・技術を習得し専門性を高めることを目的として、Webによるオンデマンド研修を開催いたします。認定専門管理栄養士取得を目指すなど、皆様のお役に立つ生涯教育研修会の実施に努めてまいります。

又、昨年「第1回学術研究発表会」を開催いたしましたが、今年は「第2回学術研究発表会・第1回実践活動報告会」として、ブラッシュアップした滋賀県独自の会を開催予定です。開催の詳細が決まりましたらホームページにアップしますので、是非皆様の積極的な演題登録と参加をお願いいたします。

●栄養ケア・ステーション事業

栄養ケア・ステーションでは、特定保健指導の継続事業のほか、単発事業として、食生活に関する講演会の講師派遣・栄養相談・調理実習・レシピの栄養価計算・献立作成に応じています。また、クリニックや診療所・デイサービス・障がい者施設への派遣・求人紹介など、県民の皆様が「食を通して生き生きとした健康的な生活」を送れるよう、事業に応じています。

今後も管理栄養士・栄養士の活動拠点として依頼に応じられるように、是非、栄養ケア・ステーションにご登録をお願いいたします。お待ちしております。

●JDA-DAT しが事業

数年前のNHK朝ドラに「日々鍛錬し、いつ来るともわからぬ機会に備えよ」という名言がありました。有事への備えも日々の研鑽の積み重ねが肝要です。災害時の栄養・食生活における被災地支援は栄養士会として活動するため統一のスキルを有する必要があります。そのため毎年JDA-DATしがスタッフ養成・スキルアップ研修会を開催しています。和歌山・奈良・京都との合同研修も行い、今年度は11月22日・23日を予定しています。また、現地に支援に行くだけでなく、平時の情報共有や啓発も大切です。平時から登録メンバー全員がLINEのオープンチャットに入室し、情報共有を図っております。支援に行けない方でも登録は可能です。ぜひとも養成講座にご参加ください。

各職域事業部活動紹介

学校健康教育事業部

学校健康教育事業部では、学校における栄養教諭や学校栄養職員（管理栄養士・栄養士）が、子どもたちが学校給食をととして食に関する正しい知識を身に付け、生涯にわたり主体的に望ましい食生活を実践できるよう、より効果的な食育や健康教育を実践するため、会員の皆様とスキルアップを図っていきたくと思っています。研修について皆様のご意見をぜひお知らせいただきますようお願いいたします。

公衆衛生事業部

公衆衛生事業部では、日頃の栄養業務の中で直面する課題に着目した研修会の開催を予定しています。2024年に従来の脂肪性肝疾患の概念から生活習慣病との関連を重視した代謝機能障害関連脂肪性肝疾患（MASLD）という新たな概念が発表されました。その背景を踏まえ、「脂肪性肝疾患」をテーマに基本的な知識の復習から明日から活かせるアプローチまでを深く学べる研修会にしたいと考えています。日々の業務の悩みや工夫を栄養士・管理栄養士同士で気軽に共有し合える情報交換の場でもあるため、キャリアを問わずどなたでも気軽にご参加いただけます。

会員の皆様にとって充実した学習の場を設けていきます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

フリーランス・栄養関連企業等事業部

フリーランスで活動している会員は大津・草津・甲賀・東近江・彦根・長浜の地区ごとに月1回定例会を開き情報交換や依頼事業の分担、また様々な対象者への食の相談に対応できるように互いに研鑽しています。今まで定例会に参加されていない会員の方もぜひご参加ください。また各職域をご退職されましたら是非そのスキルをフリーランスとして発揮いただき、会員同士で情報共有できればと思います。さらに、フリーランスと栄養関連企業等の交流を深められるように進めていき、互いに相乗効果を発揮できるよう目指していきます。地域住民に一番近い栄養士・管理栄養士としてその存在をアピールできるよう各職域事業部のご協力をいただき連携をとりながら活動していきたいと思っています。

研究教育事業部

研究教育事業部では、11月から2月の期間中に対面での講習会を開催する予定です。詳細につきましては、後日、滋賀県栄養士会ホームページにてご案内いたします。

2026年度の「栄養の日・栄養週間」は10周年を迎え、

「たのしく食べる、カラダよろこぶ」をスローガンとして実施されます。本事業部では、県内の栄養士・管理栄養士養成施設と連携し、「栄養の日・栄養週間」に合わせたイベントを開催いたします。

また、滋賀県委託事業「糖尿病予防のための食育推進事業」では、小学生・中学生・高校生・大学生を対象とした啓発資料の作成を進める予定です。世代に応じた食育の推進を通して、糖尿病予防に関する理解を深めるための普及啓発に取り組んでまいります。

医療事業部

医療事業部では、今年度より企業のご協力をいただきながら、研修会を年3回開催する予定です。研修会を通じて、会員同士が学び合い、情報交換できる場を増やし、職域内でのつながりをより深めていきたいと考えています。

また、令和8年度診療報酬改定に向けた「特別食加算（嚥下調整食）に係る研修会」など、今後の業務に関わる情報を共有し、日々の栄養管理に活かせる機会を提供していきたいと思っています。

さらに、同職種連携をテーマとした研修会については、今年度も3職域合同で開催を予定しています。職域を越えた交流を通じて、会員の皆様の学びや連携の輪が広がるよう取り組んでまいります。

福祉事業部

福祉事業部では、会員の皆様の日々の業務に少しでも役立つ学びの機会を提供できるよう、今年度も研修会の開催を予定しています。現場で活躍されている管理栄養士・栄養士の皆様が、明日からの業務に活かせる内容となるよう企画を進めています。

また、研修会だけでなく、会員同士が気軽に情報交換できる機会も大切にしたいと考えています。日々の悩みや工夫を共有することで、新たな気づきやつながりが生まれる場になれば幸いです。

福祉分野を取り巻く環境が変化する中、会員の皆様とともに学び、成長できる事業部を目指してまいります。ぜひお気軽にご参加いただき、ご意見やご要望もお寄せください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

事務局だより

2025年度より研修会の案内ほかはメール配信となります。アドレスを登録されていない会員さまは、滋賀県栄養士会事務局（info@shiga-ad.or.jp）までアドレスをお知らせください。

入会のご案内

職場の同僚や身近な仲間で、まだ未入会の管理栄養士・栄養士の方はいませんか？私たちと一緒に活躍いただける栄養士・管理栄養士の方にご紹介ください。

●会員の特典

- ・専門知識・技術を高める研修会・講習会への参加
- ・栄養士・管理栄養士同士の交流
- ・最新の栄養情報等が記載された日本栄養士会の月刊誌、滋賀県栄養士会の機関紙の送付
- ・栄養士賠償責任保険への加入
- ・採用情報の収集 等

●会費

入会金 1,000 円（初年度のみ）＋日本栄養士会会費 6,500 円
＋滋賀県栄養士会会費 7,500 円

※新卒 1 年目の場合、滋賀県栄養士会会費 7,500 円が無料に！

※令和 9 年度より、滋賀県栄養士会会費が改定されます。

現行 7,500 円 ⇒ 改定後 9,000 円

●入会方法

下記の二次元コードからお申し込みください。

お知らせ

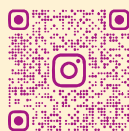
ホームページでは、お知らせ
や様々な研修会の案内などを
確認することができます

滋賀県栄養士会 <https://shiga-ad.or.jp>

Instagram で、写真や動画を
発信しています！

滋賀県栄養士会 公式アカウント

<https://www.instagram.com/shiga.eiyou> SHIGA.EIYOU



賛助会員の紹介

令和 8 年度「賛助会員」の皆さまです。（五十音順）

- | | |
|--------------|------------------|
| ●味の素(株) | ●(株)ナリコマエンタープライズ |
| ●尾家産業(株) | ●ニチワ電機(株) |
| ●大塚製薬(株) | ●日本ハムマーケティング(株) |
| ●(株)大塚製薬工場 | ●長谷川化学工業(株) |
| ●京滋ヤクルト販売(株) | ●(株)丸八ヒロタ |
| ●情熱の赤いバラ | ●山大商事(株) |
| ●タナカフーズ(株) | |
- （合計 13 社 6 月末現在）（敬称略）

栄養士会では、多くの賛助会員の皆様のご理解とご協力をいただきながら、充実した運営ができており感謝申し上げます。

今後とも引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

第38回

食と健康展

日時：令和 8 年 11 月 3 日（火・祝）

開場：10 時～15 時

入場無料

場所：ビバシティ彦根

1F センタープラザ

スランブラリーに参加して記念品をゲットしよう

栄養相談コーナー

お弁当コンテスト

災害支援コーナー

お気に入り
投票しよう！

健康チェックコーナー

血圧測定
フレイルチェック

紙芝居

主催：公益社団法人 滋賀県栄養士会

協賛：ビバシティ彦根

後援：滋賀県、滋賀県教育委員会

問い合わせ先：公益社団法人 滋賀県栄養士会

TEL : 077-581-1366 月曜～金曜 9:00～17:00

しが栄養ケア・ステーションのご案内

公益社団法人滋賀県栄養士会が開設している「しが栄養ケア・ステーション」は会員である管理栄養士・栄養士が専門的な立場で「食」を通して県民の健康づくりに広く貢献できるよう、いろいろな支援を行っております。

- 特定保健指導
- 訪問栄養食事指導
- 栄養食事指導・栄養相談（医療機関・事業所・一般市民・各種イベントなど）
- 講演・講習会（食育講座・料理教室・生活習慣病予防教室・低栄養予防教室・介護予防教室など）
- 栄養価計算・献立作成およびアドバイス
- 新聞・雑誌などへの記事掲載

など幅広く対応させていただいています。お気軽にご相談ください。詳しくは滋賀県栄養士会ホームページをご覧ください。

【お問い合わせ・お申し込み】 滋賀県栄養士会事務局
TEL 077-581-1366 FAX 077-558-6617
までお願いします。

編集後記



発行にあたり、ご協力いただきました皆様に心より御礼申し上げます。